

# 小学6年 社会 — 解答と解説

1

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
ウ	イ	エ	竹 (島)	イ
21	22	23	24	25

問 6	問 7
エ	ア
26	27

問 8				
(1)	ウ	(例)	鉄鋼業の原料を輸入するのに	
28	(2)		便利な海沿いに多く立地している。	
			29	30 31

問 9	問10	問11	問12	問13
キ	イ	(1) エ (2) ウ	ア	イ
32	33	34 35	36	37

問14
ア
38

2

問 1	問 2	問 3
班田収授 (はんでんしゅうじゅ) <sup>(法)</sup>	エ	イ
39	40	41

問 4	問 5	問 6	問 7
(1) エ (2) 封建 (ほうけん) (制度)	エ	イ	ウ
42	43 44	45	46

(配点)

- ① 問 8 (2) 6 点  
 ② 問 1 4 点 問12 4 点  
 ③ 問 9 6 点

上記以外 各 2 点 計100点

問 8	問 9	問10	問11	問12
エ	ウ	イ	イ	イ → ア → エ → ウ
47	48	49	50	(完答) 51

問13
ア
52

**3**

問 1				問 2						問 3		
(1)	エ	(2)	イ	(1)	公	共	の	福	社	(2)	ウ	ア
53		54		55				56		57		

問 4				問 5		問 6		問 7		問 8	
(1)	エ	(2)	ア	ウ	イ	ア	イ				
58				59		60		61		62	
										63	

(例)	問 9
生産年齢人口に対する老年人口の割合が増えているため、	
生産年齢人口 1 人あたりの負担が増えていく。	
64	65 66

問10	問11
エ	ウ
67	68

【解 説】

1

問 1 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

宮崎県は、日本海流の影響で春先でもあたたかい<sup>えいきょう</sup>ため、ピーマンなどの促成栽培<sup>そくせいさいばい</sup>をさかんに行っています。アのパイナップルやシークワサーの栽培は沖縄県、イのい草は熊本県、キャベツの栽培は近郊農業<sup>きんこう</sup>がさかな<sup>いなき</sup>な愛知県や高冷地農業がさかな<sup>つくし</sup>な群馬県など、エの干拓<sup>かんたく</sup>は有明海沿岸<sup>ありあけ</sup>の地域、稲作は筑紫平野などで、それぞれ行われている農業です。

問 2 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

地図1に示されているのは佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県の4県で、Aは長崎県を示しています。長崎県では、戦前から造船がさかんであるため、輸送用機械の割合が高いイが長崎県のグラフになります。アは佐賀県、ウは熊本県、エは鹿児島県のグラフです。

問 3 A2 置き換え 関係づけ

地図1のBの工業都市は山口県宇部市<sup>うべ</sup>です。山口県にはカルスト地形が見られ、宇部市周辺では原料の石灰石<sup>せっかいせき</sup>が採掘<sup>さいくつ</sup>されることから、セメント産業がさかんです。

問 4 A2 置き換え 関係づけ

地図1のCの県は島根県です。竹島は島根県の沖にある島で、韓国が領有権<sup>りょうゆうけん</sup>を主張し、警備隊<sup>けいびたい</sup>を置いて不法に占拠<sup>せんきょ</sup>しています。

問 5 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

地図1のDの県は香川県です。香川県が位置する瀬戸内海沿岸の気候は、夏・冬の季節風<sup>せ と ない かい</sup>が四国山地・中国山地にさえぎられるため、一年を通して降水量<sup>こうすいりょう</sup>が少なく、温暖な気候<sup>かんがい</sup>で干害<sup>かんがい</sup>が起こりやすくなっています。したがって、降水量が少なく平均気温の高いイが、香川県高松市の雨温図です。アは、夏に対して冬の降水量が多い日本海側の気候の鳥取県鳥取市、ウは、夏の降水量が多い太平洋側の気候の高知県高知市、エは、年間を通して降水量が少なく、1月の平均気温が0度未満になる、中央高地の気候の長野県長野市の雨温図です。

問 6 A2 比較

近畿地方は、大阪市・神戸市などの大消費地をかかえているため、大都市向けに野菜などを生産する近郊農業がさかんです。特に兵庫県<sup>あわじしま</sup>の淡路島は、たまねぎや草花の栽培で知られています。アとウは大阪府、イは京都府について説明しています。

問 7 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

アは和歌山県、イは奈良県、ウは三重県、エは滋賀県です。グラフは、果実の割合が60%以上をしめていることから、みかん・うめ・かきなどの果樹<sup>かじゆ</sup>の栽培がさかんで、それぞれ全国一の生

産量をあげている和歌山県の農業産出額のグラフであると判断することができます。

### 問8

- (1) **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

地図2のEの県は愛知県で、愛知県の一部をふくむ工業地帯は中京工業地帯です。中京工業地帯では、愛知県の豊田市を中心とする自動車工業がさかんであることから、機械の出荷額の割合が高くなっています。アは機械の生産が多く、食料品の割合も高くなっていることから、北九州工業地帯（地域）のグラフです。イは金属の割合が高いことから、阪神工業地帯のグラフです。エは化学の割合が高いことから、京浜工業地帯のグラフです。東京湾沿岸には多くの石油化学コンビナートが立ち並んでいます。

- (2) **B2** 視点を変える 推論 理由

鉄鋼業は鉄鉱石・石炭・石灰石を原料としており、石灰石以外は輸入にたよっていることから、原料の輸入に便利な太平洋側の海沿い（臨海部）に工場が多くなっています。

### 問9 **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

オは石川県、カは岐阜県、キは長野県、クは山梨県です。グラフ3は、情報通信機械が16%以上の高い割合をしめていることから、戦後、精密機械工業がさかんになり、現在は電子部品などを製造する長野県の製造品出荷額等のグラフであると判断できます。

### 問10 **A2** 置き換え 関係づけ

地図2のFの県は富山県です。富山県では、神通川によって運ばれたカドミウムで汚染された水で育った米を食べた流域の人々の中に、イタイイタイ病を発症する人が出ました。

### 問11

- (1) **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

地図2のGの県は千葉県です。この県がふくまれる工業地域である京葉工業地域は、京浜工業地帯から鉄鋼や化学の工場が進出して発達したことから、全国の製造品出荷額等の割合に比べて、金属工業と化学工業の割合が高いです。アは自動車の生産がさかん機械工業の割合が高い関東内陸工業地域のグラフです。イは紙・パルプの生産がさかん機械工業の割合が高いことから、東海工業地域のグラフです。ウは金属工業の割合と化学工業の割合が高いものの、京葉工業地域ほどの割合の高さは見られないことから、瀬戸内工業地域のグラフです。

- (2) **A3** 特徴的な部分に注目する 比較

千葉県にある日本で最も貿易額が多い貿易港は、成田国際空港です。この空港で輸入されている品目のうち、2022年において、その金額割合が最も高いものは医薬品となっています。アの衣類の割合が最も高い貿易港は東京港、次いで大阪港となります。イの半導体は、成田国際空港で最も輸

出金額の割合が高い品目です。エの液化ガスの割合が最も高い貿易港は名古屋港となっています。

問12 B1 特徴的な部分に注目する 比較

表は、群馬県の収穫量が最も高くなっていることから、この野菜は、群馬県で夏でもすずしい気候を生かしてさかんに生産されているキャベツであることがわかります。イのレタスは長野県・茨城県・群馬県、ウのこんにゃくもは群馬県、エのらっかせいは千葉県でさかんに生産されています。

問13 A2 比較

秋田県は、2022年における米の生産量が全国第3位で、八郎潟という湖を干拓してできた大潟村を中心に稲作を行っています。アの竿燈まつりは毎年8月に行われています。ウの将棋駒は山形県天童市でほとんどが生産されています。エの北上高地は岩手県に位置しています。

問14 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

地図3であらわされている北海道のXは夕張、Yは苫小牧、Zは室蘭を示しています。

2

問1 A1 知識

律令政治が行われていた時代には、土地と人民は国のものとする公地・公民の制度がとられており、分け与えられた土地は、その土地のもち主の死後は国に返されることになっていました。また、口分田から収穫される稲の3%は税として地方の役所に納められました。この税は租とよばれます。

問2 A2 比較 理由

866年に藤原良房が摂政となった以降から、藤原氏による摂関政治が始まりますが、この時期に藤原氏が力をにぎった理由は、寄進された荘園を多くもっていたこと、娘を天皇のきさきにし、天皇家との関係を深めたこと、藤原氏の一族で高位・高官を独占したことにあります。エは坂上田村麻呂が行ったことです。

問3 A2 比較

平清盛によって大輪田泊が修築され、日本と宋の間に正式な国交はありませんでしたが、民間の商人による貿易がさかに行われました。エの藤原頼通によってつくられた阿弥陀堂とは、京都府宇治市の平等院鳳凰堂のことです。平清盛が平家納経をおさめたのは、厳島神社です。

問4

(1) B1 視点を考える 置き換え 比較

鎌倉幕府は、将軍を中心に、これを助ける執権と、侍所・政所・問注所によって成り立っている。

ました。また、1185年、源頼朝と対立した源義経を捕らえることを名目に、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を置き地方を支配しました。加えて承久の乱後、朝廷を監視し、西国の御家人を統制するために、京都に六波羅探題を置きました。

(2) **A1** 知識

鎌倉幕府の将軍とその家来である御家人との間には、御恩と奉公の関係があり、この土地を仲立ちとした関係に基づき成立していた武士の主従関係は封建制度と呼ばれます。

問5 **A2** 比較

ア：経済を発展させるため、商人の組合である座の特権を廃止したのは、織田信長が行った楽市・楽座についての説明です。イ：足利義満は、日本と明との間に国交を開き、勘合貿易を行いました。ウ：足利義満は、京都の北山に金閣をつくりました。このころの文化を北山文化といいます。東山には足利義政が銀閣をつくりました。

問6 **A2** 比較

山城の国一揆は、1485年に起こりました。アは1488年に現在の石川県、ウは1428年に現在の滋賀県、エは江戸時代半ばから末期まで各地で起こった一揆です。

問7 **A2** 比較

ア：参勤交代を制度化した3代目将軍は徳川家光です。イ：大名の妻子は領地ではなく江戸の屋敷に住まわされました。エ：基本的に、譜代大名は外様大名よりも江戸近くに配置されたため、外様大名よりも日数や負担が少なくすみました。

問8 **A2** 具体・抽象 比較

田沼意次は、長崎貿易をさかんにし、商工業者の組合である株仲間を積極的に認める政治改革を行いました。ア：江戸や大阪など大都市の周辺の土地を幕府の領地とし、もとの領主にかわりの土地を与える上知令などの政策は水野忠邦が行った天保の改革について述べた文です。イ：ききんに備えて米をたくわえさせ、武士の借金を帳消しにさせるなどの政策は松平定信が行った寛政の改革について述べた文です。ウ：青木昆陽にさつまいもの栽培を研究させ、ききんによる食糧不足に備えるなどの政策は徳川吉宗が行いました。

問9 **B1** 視点を変える 置き換え 比較

日米修好通商条約（1858年）を結んだ数年後（1865年）において、日本の主要輸出品となったのは生糸であり、当時の最大の貿易相手国はイギリスでした。

問10 **A1** 比較

自由民権運動に深くかわかり、フランス流の自由主義をめざす自由党を結成した人物は、イの

板垣退助<sup>いたがきたいすけ</sup>です。アは、1885年に初代内閣総理大臣となった人物、ウは、1882年に立憲改進黨<sup>りっけんかいしんとう</sup>を結成した人物、エは、西洋の思想を日本に紹介<sup>しょうかい</sup>し、「学問のすゝめ」を著した人物です。

問11 A2 置き換え 比較

日露戦争後の1911年、外務大臣の小村寿太郎<sup>こむらじゅたろう</sup>は、アメリカと交渉<sup>こうしょう</sup>して、関税自主権の回復に成功し、これによってようやく日本は、外国と対等な関係になりました。外務大臣の陸奥宗光<sup>むつむねみつ</sup>による領事裁判権<sup>しんさいはんけん</sup>の撤廃<sup>てつぱい</sup>は、日清戦争開戦直前の1894年に行われました。

問12 A2 順序立てて筋道を捉える

年表中のEの第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の時期に起こったア～エのできごとを古い順に並べると、イ：ロシア革命が起こる（1917年）→ア：国際連盟<sup>こくさいれんめい</sup>が成立する（1920年）→エ：関東大震災<sup>くわんとだいしんさい</sup>が発生する（1923年）→ウ：普通選挙法<sup>ふつうせんきょほう</sup>が成立する（1925年）となります。

問13 A2 関係づけ 比較

鳩山一郎<sup>はとやまいちろう</sup>がソ連を訪問<sup>ほうもん</sup>して日ソ共同宣言に調印したことで、日本は国際連合<sup>こくさいれんごう</sup>に加盟することになりました。また、福田赳夫<sup>ふくだ たけお</sup>が平和五原則の確認などを内容とする日中平和友好条約を結びました。田中角栄<sup>たなかかくえい</sup>は、1972年に日中共同声明が結ばれたときの内閣総理大臣です。吉田茂<sup>よしだしげ</sup>は、1951年にサンフランシスコ平和条約が結ばれ、日本が独立を回復したときの内閣総理大臣です。

3

問1

(1) A2 具体・抽象 比較

下線④であらわされている日本国憲法の原則とは、平和主義の原則です。そして、この平和主義の原則について、第9条では、アの戦力の不保持、イの戦争と武力行使<sup>ほうき</sup>の放棄、ウの交戦権<sup>こうせんけん</sup>の否認を定めることによって実現しようとしています。エの集団的自衛権<sup>しゅうだんてきじえいけん</sup>の行使は、第9条で定められている平和主義の原則にはふくまれていないことから、さまざまな意見があります。

(2) A2 比較

現在の日本国憲法の草案は、連合国軍最高司令官総司令部<sup>れんごうこくぐんさいこうしんらいかんそうしんれいぶ</sup>（GHQ）が作成しました。GHQははじめ、日本政府に対して憲法改正を指令しましたが、日本政府や民間が作成した案<sup>だいにっぽんてい</sup>は大日本帝国憲法<sup>こくけんぽう</sup>から変化が少なかったため、採用<sup>さいよう</sup>されませんでした。

問2

(1) A1 知識

憲法第12条は個人の尊重と公共の福祉<sup>ふくし</sup>について定められています。公共の福祉とは、社会全体の共通の利益であり、ほかの人の人権<sup>じんけん</sup>との衝突<sup>しょうとつ</sup>を避けるための原理です。国民は自由と権利をもっていますが、権利のらん用<sup>らんよう</sup>をしてはならず、自由は公共の福祉のために利用しなければならない

としました。

(2) A2 分類

憲法が定めている精神の自由とは、何を考え、何を学び、何を信じようとそれは個人の自由であるということで、これにあてはまるのは、ウの集会・結社・表現の自由です。アの財産権の保障、イの居住・移転の自由、エの職業選択しよくぎようせんたくの自由は、経済活動の自由にふくまれる権利です。

問3 B1 視点を定める 置き換え 比較

法律案は、参議院が衆議院の可決後60日以内に議決しないか、否決した場合は、衆議院で出席議員の3分の2以上の賛成で再可決すると、成立します。

問4

(1) A2 比較

内閣総理大臣は、国会議員の中から国会が指名し、天皇が任命します。

(2) A2 具体・抽象 比較

内閣の仕事には、イの行政のために内閣のきまりである政令を出すこと、ウの天皇の国事行為こくじこういに助言と承認しようにんを与えること、エの外交の問題を処理しよりし、外国との間で条約を締結ていけつすることがふくまれています。アの政治上の問題が起こったときに、国政調査権を行使することは、内閣の仕事ではなく、国会の仕事です。

問5 A2 比較

裁判官は、憲法や法律に反しない限り、自分の良心に従って判断を下し、国会（立法権）や内閣（行政権）から影響を受けません。これを司法権の独立といいます。最高裁判所の長官も、そのほかの裁判官と同様に、国会の弾劾裁判だんがいによってやめさせられることがあること、最高裁判所以外の裁判所も、違憲立法審査権いけんしんさを行使することは認められていること、裁判官も司法試験に合格する必要があることから、ア、イ、エはそれぞれ裁判所や裁判官について述べた文として正しいものではありません。

問6 B1 視点を定める 置き換え 比較

日本において、立法権、行政権、司法権の三権を分立させている理由は、三権がおたがいに監視し合って権力の行きすぎを防ぎ、三権が一か所に集中する独裁どくさいの状態を防ぐことにあります。主権をもつ国民は、国民の代表である国会議員を選ぶ選挙、テレビ・新聞・インターネットなどを通じた世論よろん、最高裁判所裁判官の国民審査しんさによって、三権を監視しています。

問7 A2 比較

1つの選挙区について1名が当選する小選挙区制は、大政党に有利で強力な政権が形成されや



すいほか、選挙活動の範囲<sup>はん い</sup>に限られるため、選挙費用が少なくすむが、死票が多くなるという特徴<sup>とく</sup>があります。

問8 A2 比較

地方自治においては、首長である都道府県知事や市区町村長は、その不信任が決議された場合、議会を解散することができます。地方裁判所は地方自治体の機関ではなく、地方自治体において地方議会議員が裁判を行うことはなく、地方議会は国会のような二院制ではなく、一院制をとって条例の制定や予算の決定を行っていること、住民は有権者の50分の1以上の署名<sup>しよめい</sup>を集めれば、地方自治体に条例の制定を求めることができることから、ア、ウ、エはそれぞれ地方自治について述べた文として正しいものではありません。

問9 B2 視点を変える 推論 理由

資料3から、1998年あたりから、医療<sup>いりよう</sup>や年金などに使われる社会保障費（社会保障給付金）の増加の割合に比べて、その社会保障費にあてる社会保険料の増加の割合が少なくなってきたことが読み取れます。年金を受け取るのはおもに65歳以上であるのに対して、社会保険料を支払うのは、おもに労働力となる15～64歳です。そのため、高齢者<sup>こうれい</sup>の人口が増え、労働力となる人口が減ると、若い世代1人あたりの負担が増えると考えられます。

問10 A2 比較

対象となる金額が多くなればなるほど、税率が高くなる累進課税<sup>るいしん</sup>のしくみをとっている税は、所得税や相続税です。

問11 A2 分類

国際連合の人権保護のための活動には、アの女子差別撤廃条約<sup>てつぱい</sup>（1979年）、イの世界人権宣言（1948年）、子どもの権利条約（1989年）などがありますが、ウの非核三原則（1967年）は、当時の日本の内閣総理大臣であった佐藤栄作<sup>さとうえいさく</sup>によって国会で掲げられました。

（記述問題の採点について）

・明らかな誤字・脱字<sup>だつじ</sup>がある場合……1点

③ 問9

「生産年齢人口1人あたり」のことばが使用されていない場合……不正解

